

# 井尻小学校 校報 井尻の子！



<第6号> 令和3年10月14日発行 (校長 堀江 博生)

朝夕、肌寒く感じる季節を迎えています。子どもたちの中には長袖を着る姿も見られ、服装からも季節の移り変わりが感じられます。先週末には季節外れのあたたかさが続きました。寒暖差の激しい中、体調管理にはくれぐれも気をつけて日々過ごしてほしいと思います。

## 実りの秋を迎えました。

9月28日(火)には、2年ぶりとなる稲刈りを行いました。今年も稲作の会のみなさまに大変お世話になり、たわわに実った稲を全校児童と井尻こども園の年長のみなさん、そして地域の方と一緒に刈ることができました。初めて稲刈りを体験する1年生も、見よう見まねで刈り取りました。地域の方々が子どもたちに直接かけていただく「上手！」の一言が何よりも励みになりました。



終了後に地域の方々が、「一昨年には、落穂がたくさんあったけれど、今年は少なかった。みんな上手に刈ったよ。」とお褒めの言葉をいただきました。

この後、10月15日は脱穀が予定されています。井尻小学校の給食で使われるようになるのは11月下旬か12月になるのではないかと思います。新米が食べられる日を今から楽しみにしています。



台風の影響やイノシシが入るなど思わぬ出来事が続いた中、ずっとお世話をしていただきました稲作の会のみなさんにはあらためてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

## 伯太町5年生交流学習を行いました。

10月7日(木)には、5年生が伯太町5年生交流学習会に出かけました。本来なら宿泊研修として行われる予定でしたが、コロナ禍の中、日帰りによる交流活動に変更しました。

当日は、雲一つない好天に恵まれ、しかも無風という「サバニ」を経験するには絶好のコンディションでした。～「サバニ」とは、10人乗りの沖縄生まれの手漕ぎの船のことです。～陸上で漕ぎ方や安全について指導を受けた後、子どもたちは早速「サバニ」に乗り込み宍道湖に漕ぎ出しました。

本来なら、子どもたち自身が声をかけるのですが、コロナ禍の中、船頭さんのかけ声に合わせて、オールで水面をかいて



いきました。

最初はなかなか息が合わずサバニが進まないこともありましたが、次第に息も合い、みるみるうちに岸から離れていきました。気がつけばスタート地点の橋が小さく見えるほど遠くまで漕ぎ出していました。湖上で休憩をすると、手でさわれるところに穏やかな宍道湖が広がり、見上げれば透き通るような青空が見えます。後から船頭さんに聞くと往復約3.4kmの道のりを漕いだことになるとのことでした。



リモートでの事前打合わせはあったとはいえ、出会うのは今日が初めての伯太町の5年生でしたが、共にやり遂げた満足感があったと思います。



サバニが終わると、国宝松江城天守閣に登り、堀川遊覧も楽しみました。一日だけの駆け足の交流学習会でしたが、同学年の仲間意識が育つとてもよい経験になりました。

サバニが終わると、国宝松江城天守閣に登り、堀川遊覧も楽しみました。一日だけの駆け足の交流学習会でしたが、同学年の仲間意識が育つとてもよい経験になりました。

## 遠足に出かけました。

10月12日(火)には、全校で宍道ふるさと森林公園に遠足に出かけました。当日は、小雨の降る肌寒い天気の中でしたが、ネイチャートレイリングという普段できない体験と工作を楽しみました。

ネイチャートレイリングとは、簡単にいえば目印に従って森の中に入り、クイズに答えながら植物とふれあう活動のことです。講師の先生から活動の方法を聞き、班ごとに分かれて活動が始まりました。子どもたちはねばねばした木の実に触れたりハーブのようなにおいのする葉っぱを見つけてかいたりしながらコースを回りました。

工作では木片や枝、木の実をホットボンドでつけていく活動をしました。思い思いに形をつくり丁寧に仕上げていきました。普段学校では体験できない活動を楽しみ、縦割り班で協力できた時間となりました。



## ご寄贈に感謝申し上げます。

先日、子どもたちのためにと地域の方々からご寄贈をいただきました。あたたかいご支援に、紙上で大変失礼とは思いますが、ご披露に合わせ感謝申し上げます。(順不同)

- ◇伯太地区更生保護女性会様 金一封 …子どもたちの図書補充に使わせていただきます。
- ◇坪倉様 メロン …給食のデザートとしておいしくいただきました。
- ◇寺田様 チューリップ球根 …時期をみて、学校園に植えさせていただきます。

○地域の方々に支えられていることにあらためて感謝し、子どもたちが笑顔で日々過ごせる学校となるよう努力してまいります。ありがとうございました。